

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp vol.49



市民と市政のかけ橋になりたい！

☆お気軽にお声をかけて下さい。
お友達との井戸端会議、勉強会等、2〜3人でも結構です。どこへもお伺いいたします。
☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を！

6月定例議会報告 6/8▶23

6月定例議会が、6月8日(月)から23日(火)にわたって行われました。

今回、執行部から提出された議案は、真岡市ケーブルテレビ施設の指定管理者の指定(宇都宮ケーブルテレビ株式会社が新たな管理者となるというもの)をはじめ5件。審議の結果、いずれも原案通り可決されました。

中村、2年3か月ぶりの論戦！

また、質疑・一般質問は15日(月)、16日(火)の2日間行われ、中村は15日の4人目として登壇。

計3件の課題について一般質問を行い、執行部の考えをたずねました。

これまで、監査委員(慣例により一般質問ができない)を務めてきた中村にとって、約2年3ヶ月ぶりの論戦となりました。



中村が行った一般質問の内容

1.人口減少時代におけるまちづくりについて

- (1)市街化調整区域に対する市の考え方について
- (2)地域公共交通網形成計画策定事業について
- (3)定住自立圏及び連携協約制度について

2.教育関係の諸課題について

- (1)学力向上に向けた取り組みについて
- (2)読書指導の充実について
- (3)コミュニティスクールの導入について
- (4)各種スポーツチームとの連携について

3.起業家の育成・支援について

- (1)起業家の活動拠点整備について
- (2)インキュベーションマネージャーの配置について

しごとの創生 ~起業家をどのように支援していくか~

市議会議員選挙の真っ只中だった4月22日。首相官邸の屋上に小型の無人飛行機「ドローン」が落下したという出来事があった。それ以降、TVや新聞などでも「ドローン」について度々報道されるようになり、国民の間でもにわかに関心が高まりつつある。

元々「ドローン」は、農業散布などごく限られた場面で使われていたのだが、東日本大震災以後、災害時の情報収集や人が入りにくい場所での映像撮影や建設作業など、様々な分野に活用の場が広がっている。

さて、この「ドローン」であるが、開発の第一人者として真岡市内の若い起業家がいたということをご存知だろうか。

「いた」という過去形をあえて使ったのは、現在はより良い条件の自治体に会社機能が移転してしまったためである。せっかく地元で育とうとしていた若い起業家をみすみす流出させてしまうのは、甚だ残念なことと言わざるを得ない。

真岡市には、起業家を支援する施設として、平成15年に荒町地内に開設した「MOP21」があった。また、平成24年度からは起業家に対する相談業務を専門的に担う「インキュベーションマネージャー」を、真岡商工会議所に配置させてきた。そうした取り組みだけ見れば、真岡市における起業家をとり巻く環境は、決して悪かったわけではない。

しかし、「MOP21」については東日本大震災で建物が破損したことにより閉鎖され、「インキュベーションマネージャー」についても現在は空席となっている。そうしたことも影響しているのだろう。真岡市内で活動拠点が見つけれず他市町で起業せざるを得なかったという事例は、前述の起業家だけでなく、こ

の1〜2年の間で特に目立ってきているように感じる。

6月定例議会の一般質問において、執行部は「真岡商工会議所内にMOP21を再開すること」と、「今年度中に商工会議所職員がインキュベーションマネージャーの資格を取得すること」を明らかにした。止まっていた「時計の針」が再び動き始めたことに対する安堵感の一方で、この間に他市町に流出してしまった起業家のことを考えると、「何でもっと早く動けなかったのか？」という疑問をどうしても抱いてしまうのである。

起業家の活動拠点となる「MOP21」も再開するとは言え、整備されるのはわずか2部屋しかない。執行部もこの点については、決して充分ではなく、今後も引き続き物件を探していく考えを表明した。これに対しては、現在真岡市で課題となっている「空き店舗」や「空き家」、さらに今後使道が問われることになる「空き校舎」などの活用策としても有効ではないかと考える。ただし、真岡市が支援施設を整備するまで待つてくれるような起業家はいない。できるだけ早急に整備を進めていただきたい。

今日盛んに叫ばれている「地方創生」の理念として、「まち・ひと・しごと」ということがキーワードとなっている。それを見ても分かるように、各自治体にとって将来に向けて仕事を創出することができるか否かは、生命線とも言うべき課題である。起業家支援は、「しごとの創生」において重要な部分を占めるものと考えられる。

コラム
ざいむあつぱ

「見逃した！」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ました。1〜48号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

11月1日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



中村かずひと議会レポート

6月定例議会 一般質問

【答弁者】
井田 隆一 市長
酒井 勲 教育長
増山 明 産業環境部長
大関 正信 建設部長

1.人口減少時代におけるまちづくりについて



質問 昨年3月に策定した『都市計画マスタープラン』に、『コンパクトシティの考え方に基づく』と明記されている。これは、高齢化・人口減少が加速する中で、効率的なまちづくりを進めるため、**中心市街地への移住を誘導**する取り組みである。しかし、『第11次市勢発展長期計画』の中では、『魅力と活力に満ちた農村対策』が目標として掲げられている。コンパクトシティを進めるにあたって、**市街化調整区域の位置づけ**をどのように考えているのか。

答弁 コンパクトシティは、**徒歩などで移動できる範囲を生活圏**として捉え、必要な機能がバランス良く集約し、街なかへの居住を誘導する都市形態である。社会資本の整備や維持、管理にかかる**行政コストを縮減**し、持続可能なまちづくりを目指している。しかし、地域の特性が失われ、**既存集落の持続を危ぶむ指摘**もある。今後、**先進事例を検証**し、真岡市に合ったコンパクトシティのあり方を研究することが必要と考えている。

質問 真岡市では、平成23年11月からデマンドタクシーの『いちごタクシー』を、翌24年9月からコミュニティバスの『コットベリー号』を運行させてきた。今後、公共交通の充実化は一層必要となるが、市民の間からは**増便や路線エリアの拡充を求める声**が目立ってきている。『地域公共交通網形成計画』を今年度から策定することとなっているが、**具体的なスケジュール**はどのようになっているのか。

答弁 『地域公共交通網活性化協議会』において協議し、計画の内容を決定したい。この協議会は、市長を会長とし、交通事業者、自治会連合会など関係団体の代表者、学識経験者、警察や道路管理者、国・県の交通政策担当者、公募委員など25名で構成されている。**6月24日の第1回協議会**では、計画の骨子について話し合う。その後、市民意識調査を実施し、現在の課題を整理する。**12月に第2回協議会**を開いた後、市民へのパブリックコメントを経て、最終的に**来年3月に予定している第3回協議会**で策定していく。

質問 総務省では、平成20年頃から『定住自立圏』というものを提唱・推奨している。これは、人口5万人以上で昼間人口の多い自治体を中心市として位置づけ、**周辺自治体と協定**を締結し、エリア全体で**定住促進を図る**ものである。この『定住自立圏』を形成している地域は、**全国で90に及んでいる**が(今年5月22日の時点)、真岡市でも導入の有無を含め**調査・研究をすることは必要**なのではないか。

答弁 芳賀地区では、**1市4町で広域行政事務組合**を組織し、消防やごみ処理、し尿処理、斎場、市場、急患センターなどを共同で運営してきたほか、広域観光事業にも取り組んできた。『定住自立圏』については、これまで**周辺の4町から具体的な提案はなかった**ので、現時点では考えていない。

2.教育関係の諸課題について



質問 4月21日に、小学6年生と中学3年生を対象とした『全国学力・学習状況調査』、小学4・5年生と中学2年生を対象とした『とちぎっ子学習状況調査』が行われた。これらのテストでいつも議論となるのが、**成績の公表**の是非である。自治体や学校単位の対抗戦になってしまうようでは本末転倒だが、**市全体の状況**(良い所やつまづいている所など)については、**市民との情報共有化は必要**なことと考えるが。

答弁 平成26年度に行われたテストの結果を見ると、真岡市の子ども達は、

| | 全国学力・学習状況調査 | とちぎっ子学習状況調査 |
|-----|---------------------------------------|-------------------------------|
| 小学生 | [調査対象教科:国・算] 国語、算数とも国・県の平均を下回っている。 | [調査対象教科:国・算・理] 県の平均とほぼ同程度。 |
| | [調査対象教科:国・数] | [調査対象教科:国・社・数・理・英] |
| 中学生 | 国語は国・県の平均より若干低い。 数学は国・県の平均より若干高い。 | 国語以外の4教科で県の平均を若干上回る。 |

という結果だった。教育委員会では、児童・生徒の**学習面や生活の様子**についての調査結果を、**広報紙やホームページなどで公表**し、市民との情報共有化を図っていく。

質問 学力向上に向けて『生活改善・学力向上プロジェクト』を実施してはどうか。これは、生活改善では**TV視聴、睡眠、学習、読書などに費やす時間**が学力にどのような影響を及ぼすのか**市独自に調査**し、データを示すことで保護者との連携を図る。学力向上では**百マス計算や音読、漢字の書き取り**などを繰り返す『モジュール授業』を実施するものである。この取り組みを行っている**山口県山陽小野田市**では、プロジェクト開始から9カ月間で**子ども達の知能指数**の平均値が**102から111**に伸びるなど、大きな効果が見られている。また、教育委員会が計画している学力向上に向けた取り組みが何かあれば説明してほしい。

答弁 現在、県の取り組みとして『学力向上アドバイザー派遣事業』を活用しているところである。真岡市内では、昨年度9校、今年度も9校が指定を受け、**学力向上改善プラン**を作成した。また、学力向上に向けた取り組みとしては、『全国学力・学習状況調査』で**過去に出された問題**を集約した**チャレンジシート**を、芳賀地区広域行政事務組合教育委員会と連携して作成し、今年度から活用しているところである。

質問 真岡市では昨年1月から、**学校図書館に専任司書**を配置する『学校図書館充実化研究事業』をスタートさせた。現在、**市内5つの小学校**(真岡、長田、西田井、大内中央、久下田)で展開されているが、いずれの小学校においても、**子ども達の読書量が増える**など効果が見られている。ただし、わが国の子ども達の学力で最も苦手な分野が『読解力』であることなどを考えると、できるだけ早急に**市内全域で実施されるべき事業**だと思うが。

答弁 現在『学校図書館充実化研究事業』を実施している5つの小学校で、平成25年度と26年度の平均値を比較してみると、**貸出冊数で42%増、利用者数で44%増**となっている。専任司書がいることで、**読書に親しみを持つ児童が増える**などの効果があったものと考えている。今年度の実績も踏まえて、**司書配置の方法と人数、費用**などを検証した上で、**今後の配置計画を検討**していきたい。

質問 『コミュニティスクール』は、教育委員会から任命された**保護者や地域住民**が、**一定の権限と責任**を持って教育活動に関わる制度を有した学校のことである。現在、文部科学省では公立小中学校の約1割にあたる約3000校を目標に、調査研究事業を実施している。**この制度を取り入れた学校**では、教員の事務量が軽減し、結果として**学力向上やいじめの減少**などの効果が見られているようだが、真岡市でも導入を検討してはどうか。

答弁 真岡市では、平成14年度から市内全小中学校で『**学校評議員制度**』を導入している。この制度は、保護者や地域住民などが、**校長の求めに応じて学校運営に関する意見を述べる**ことができるものである。また、開かれた学校づくりを推進するために、**学校支援ボランティア**など積極的に活用しているところである。こうしたことから**現行の制度を継続**しながら、地域に根ざした特色ある学校づくりを進めていく。

質問 栃木県内には『**栃木SC**』など、いくつかのプロスポーツチームが存在する。それに加えて、真岡市内を見ると、日本女子ソフトボールリーグ1部で活躍している『**ホンダ女子ソフトボールクラブ**』や、都市対抗野球北関東大会に進出した『**コットンウェイ硬式野球倶楽部**』などが活動拠点としている。こうした選手達から指導を受けることができれば、子ども達にとって大きな夢になるものと考えている。特に真岡市では『総合型地域スポーツクラブ』が本格的に立ち上がる時期でもあり、各種スポーツチームと連携を深めるには良いタイミングと思われるが、

回答 **栃木SC**との連携については、平成20年度に『**栃木SC支援事業真岡市実行委員会**』を設立し、『**サッカー教室**』や地元開催ゲームでの『**真岡市民デー**』を行ってきた。今年度に入り、**真岡市総合運動公園サッカー場**を使用して練習することがあるので、プレーを見学する機会として、**練習日が決まったら市のホームページなどで告知**したい。**ホンダ女子ソフトボールクラブ**については、同クラブの自主事業として**年2回ソフトボール教室**を開催している。今後どのような連携を図れるのか、関係者の意向などを確認したい。

3. 起業家の育成・支援 について

質問 真岡市では、**起業家を支援する施設**として、平成15年に荒町地内に開設した『**MOP21**』があったが、東日本大震災で建物が破損し、**現在は閉鎖**されている。また、起業家に対する相談業務を専門的に担う『**インキュベーションマネージャー**』を真岡商工会議所に配置させたが、当該職員の退職に伴い**現在は空席**となっている。これらについて、**できるだけ速やかに対策**を講じ、起業家が活動しやすい環境を整えるべきではないか。

回答 真岡市では、起業家の育成に積極的に取り組むため、昨年10月に『**創業支援事業計画**』を策定し、国の認定を受けたところである。この計画に基づき新たな活動拠点を検討してきたが、当面の措置として、**真岡商工会議所内で『MOP21』を再開**し、今年8月から入居者を募集する。また『**インキュベーションマネージャー**』の配置については、真岡商工会議所の職員が、**今年度中に資格を取得**する予定となっている。

再質問

市街化調整区域のあり方について

質問 市街化調整区域に住む市民にとって、苛立ちの原因の最たるものは『**45年以前につくられたルールに今なお縛られている**』ということだと考える。**宇都宮市、足利市、栃木市**などでは**規制を緩和する条例**が制定されているようだが、真岡市ではなぜそうしたことができないのか。

回答 市街化区域、市街化調整区域については昭和45年に線引きを決定している。**市街化調整区域**については、**現行通り**ということ考えている。

質問 これまで市議会では、何人もの議員がこのテーマについて問題提起してきたが、毎回執行部の答弁と平行線となっている。そもそも市街化区域と市街化調整区域の**線引きを変えられない理由**は何か。

回答 市街化区域と市街化調整区域の線引きは、国による**国事行為**であって**変えられない**状況にある。もしも変えてしまうと、**まちづくりのあり方が根底から崩れてしまう**懸念がある。

質問 例えば、下大沼から粕田にかけての**美しい田園風景**が保たれてきたのは、市街化調整区域だったことによるものだが、一方では**人が住んできたからこそ保たれたもの**でもある。**市街化調整区域のあるべき姿**について先進地を調査研究していきたいとのことだったが、**今後どのようなタイムスケジュール**で検討していくのか。

回答 人口減少時代の中で、市街化調整区域をどう維持させていくのかについては、非常に時間がかかる問題だと考えている。また、**コンパクトシティ**という考え方は、中心市街地だけでなく、**市街化調整区域の中でも**進めていかなければならないと思っている。

定住自立圏について

質問 真岡市の中でコンパクトシティの流れが起きているように、栃木県全体としても『**地方中枢拠点都市**』(要件:人口20万人)である**宇都宮市を中心とした集約化の流れ**が加速しつつあり、人口流出の懸念は今後も残る。**周辺の町とチームプレーで人口流出を食い止める取り組み**があっても然るべきと考える。定住自立圏については、真岡市から積極的にアプローチをしてもいいのではないか。

回答 芳賀地区1市4町の場合、**広域行政事務組合**を組織して様々な施策を展開しており、定住自立圏のような取り組みは、**その中ですでに行われている**ものと考えている。

コミュニティスクールについて

質問 今後も、**学校評議員**の制度を進めていきたいとのことだった。しかし『**校長が求めた時のみ意見が述べられる**』学校評議員制度と、『**一定の権限と責任を持って会議が開かれる**』**コミュニティスクール**では、**明らかに違う**。**教育委員会**としては、これまでコミュニティスクールについて、**どのような調査研究**をしてきたのか。

回答 **真岡市**の全小中学校で**学校評議員**の制度が始まったのが**平成14年度**である。一方、**コミュニティスクール**が**法制化**されたのが**平成16年度**のことで、この間、わずか2年しかなく、制度の見直しは難しかった。また、**学区評議員**の制度を見直すべきとの声がないこと、さらに現時点においても、**コミュニティスクール**を導入している学校は**全国の1割に満たない**ため、評価が一定化されていないので、**冷静な見極めが必要**と考えている。

要望 **学校評議員**を制度を導入して、すでに**13年**が経過している。そう考えると**見直してもいい時期**に差し掛かっているようにも思う。コミュニティスクール導入の効果は、教員の事務量軽減、さらに学力向上やいじめの減少などとされているので、もっと積極的に調査・研究をしていただきたい。

起業家の育成・支援について

質問 商工会議所の中で『**MOP21**』を再開するとのことだったが、新しい施設には**どの位の起業家が入居可能**なのか。

回答 **約9㎡の部屋が2部屋**ある。8月から募集を行い、9月から入居開始を予定している。

質問 従来の『**MOP21**』では8部屋あった。それでも起業家支援施設としては少ないと感じていたが、**2部屋**というのは**あまりに少ない**のではないか。

回答 商工会議所としても、この2部屋で充分とは考えていない。引き続き、市と商工会議所が連携しながら、**安価に貸し出せる物件**を探していく。

要望 真岡市が支援施設を整備するまで待つような呑気な起業家はいない。できるだけ早急に整備を進めていただくよう要望する。また、現在真岡市でも課題となっている、**空き家、空き店舗**、さらには**空き校舎の活用策**としてもお考えいただければと思う。



私の政治活動費

この1年間（平成26年5月1日～平成27年4月30日）にかかった私の政治活動費について皆様にご報告いたします。

| 項目 | 金額 | 備考 |
|-----------|------------|-----------------------|
| 印刷広告費 | 1,629,244円 | 『中村かずひこ通信』、リーフレット、名刺等 |
| ホームページ更新料 | 147,120円 | |
| 書籍・資料購入費 | 68,233円 | D-file等 |
| 研修参加費 | 62,000円 | 清溪セミナー、若手市議会議員の会研修等 |
| 交通費 | 13,480円 | |
| 食糧費 | 13,512円 | 集会時の茶代等 |
| コピー代 | 2,425円 | |
| 通信費 | 73,118円 | 郵送費 |
| 文具費 | 1,148円 | 封筒、ノート、ファイル等 |
| 家屋費 | 370,000円 | 事務所家賃 |
| 光熱水費 | 51,398円 | 水道料、電気料 |
| その他 | 4,596円 | 集会時の会場使用料等 |

総額 **2,436,274円**



皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載いたしました。
※なお、過去の政治活動費については『中村かずひこ通信』の1、5、9、13、17、21、25、29、33、37、41、45の各号をご参照下さい。

民生文教常任委員会 行政視察報告

7月6日（月）～8日（水）にかけて、民生文教常任委員会では、福岡県春日市と佐賀県唐津市へ行政視察に赴きました。今回は、①コミュニティスクール、②介護支援ボランティアの2つがテーマでした。

春日市

春日市では、平成17年度からコミュニティスクールの制度を導入（全校導入は22年度から）し、地域と学校との連携を深めている。

教育委員会の活性化と業務見直しを進める計画「エデュケーションかすが」の一環としてこの施策は行われているが、その背景には前教育長の強いリーダーシップがあったようだ。

学校内における問題を地域全体でカバーする体制が構築され、「教員の多忙感解消」から生徒への指導力の向上につながり、結果として、「学力向上」や「いじめ問題の解消」などの効果を生み出している。



唐津市

真岡市でも、昨年度から高齢者、障がい者、子育て中の親などを支える活動に商品券と交換できるポイントを付与する「地域共助活動推進事業」がスタートしたばかり。

唐津市では、65歳以上の市民が介護施設などでボランティア活動をした場合、ポイントが付与され、年間最大5000円の交付金が受けられる「介護支援ボランティア制度」を実施している。

対象が高齢者に限られていることや、最終的に受け取るものが現金であることについては疑問を抱いたが、ポイント付与の方法が極めて簡潔であることなどは、真岡市でも今後参考にすべき点であると感じた。



今回の視察では、右記の金額が公費でまかなわれました。
※当然のことですが、視察中の飲食代は全て議員の個人負担です。
※議員日当（3,300円×3日）の是非については、今後も課題としていきたいと考えております。

総額 **81,010円** 出所 議会費のうち旅費
内訳 交通費、宿泊費、議員日当など

中村かずひこと 未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひこ活動目録

| 5月 | 6月 | 7月 |
|---|---|---|
| 10日 真岡青年会議所「栃木の魅力を語る会」 | 1日 あいさつボランティア 議員協議会 | 2日 とちぎボランティアネットワークとの打ち合わせ (真岡自然観察会の活動として) |
| 11日 あいさつボランティア 会派間協議 | 2日 一般質問の通告書を提出 | 3日 大谷地区役員との意見交換会 |
| 13日 臨時議会 | 3日 コットンウェイ硬式野球倶楽部 都市対抗野球北関東大会応援(於:茨城県日立市) | 6-8日 民生文教常任委員会行政視察(福岡県春日市、佐賀県唐津市) |
| 18日 あいさつボランティア 関東若手市議会議員の会役員会・研修会(於:東京都千代田区) | 4日 質問・一般質問調整会議 ※その後、市の担当課と接見 | 9日 県南6市議会議長会議員研修(於:下野市) |
| 21日 任期満了に伴う感謝状贈呈式 | 6日 結婚式・披露宴 | 13日 真岡市遺族会連合会研修(靖国神社ほか) |
| 24日 明治大学校友会栃木県支部総会(於:宇都宮市) | 7日 真岡青年会議所「植松努氏講演会」 | 14日 明治大学校友会栃木県支部役員会(於:宇都宮市) |
| 25日 あいさつボランティア 監査委員引き継ぎ やまさわの里役員会 | 8日 あいさつボランティア 6月定例議会開会 | 16-17日 全国若手市議会議員の会研修会(於:福島県福島市) |
| 26日 はがの真岡倫理法人会モーニングセミナー(講師を務める) | 13日 真岡西中学校西輝ヶ丘スポーツフェスティバル 唐澤博物館を見学(於:東京都練馬区) | 17日 社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議 |
| 28日 真岡青年会議所OB会総会 | 15日 質疑・一般質問1日目 ※この日、4人目として登壇 | 19日 真岡自然観察会総会・バス研修(於:長野県東御市ほか) |
| 31日 コットンウェイ硬式野球倶楽部 都市対抗野球北関東大会壮行会 | 16日 質疑・一般質問2日目 | 24日 真岡の夏祭り |
| | 18日 民生文教常任委員会 | 25日 とちぎボランティアネットワークとの打ち合わせ (真岡自然観察会の活動として) |
| | 22日 あいさつボランティア | 29日 栃木県市議会議長会議員研修(於:栃木市) |
| | 23日 6月定例議会開会 | 31日 関東若手市議会議員の会研修会(於:大田原市) |
| | 24日 真岡地区遺族会役員会 真岡自然観察会役員会 | |
| | 29日 あいさつボランティア 栃木県内若手議員有志勉強会(於:日光市) | |
| | 30日 市民会館運営審議会 | |



倫理法人会のセミナーで講師を務める(5月26日)



江戸時代、田町にあった
寺子屋「精光堂」の様子
が再現されている唐澤
博物館を見学
(6月13日)